

事業番号	0	7	8
実施計画事業			
実施計画事業以外の事業	○		

令和元年度 事務事業評価シート

1. 事業の概要

事務事業名	スポーツ教室開催事業				担当部	教育委員会事務局					
事業期間	昭和63年度以前 ~ 令和2年度以降				担当課	スポーツ推進課					
新基本計画 (平成26年~平成30年)	基本施策	14	展開方向	1							
予算区分	一般会計	款	10 教育費	項	06	目	01	大	03	中	03

2. 実施状況

○市民スポーツ教室
幼児期とシルバー世代を対象に、親子ふれあい体操教室とシルバースポーツ大学を開催しました。

- 親子ふれあい体操教室
未就学児を対象に親子ふれあい体操教室を年間で4期開催し、160組(320人)が参加しました。
- シルバースポーツ大学
60歳以上の市民を対象に、軽スポーツやレクリエーションスポーツ等の実技や健康に関する講義を中心にスポーツ学級を年間19回開催し、40人が受講しました。

○地域スポーツ教室
各小学校の校区民を対象に、軽スポーツやレクリエーションスポーツ等のスポーツ教室を16小学校区で開催し、延べ2,047人が参加しました。

3. 総合診断

事業費	項目	単位等	H27	H28	H29	H30	R1		
			直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	1,057	981
			国・県支出金	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	288	297	300	300	
			計(A)	千円	1,345	1,278	1,322	1,311	
			対前年比	%	-	95.0%	103.4%	99.2%	
			(当初)予算額	千円	1,552	1,552	1,546	1,546	1,556
	人件費		正職員	人	0.2	0.2	0.2	0.2	
			正職員(平均賃金)	千円	1,497	1,497	1,497	1,497	
			その他職員	人	0	0	0	0	
			その他職員(時給×時間)	千円	0	0	0	0	
			計(B)	千円	1,497	1,497	1,497	1,497	
			事業費合計(C=A+B)	千円	2,842	2,775	2,819	2,808	
指標	成果指標	市民スポーツ教室の参加者数	目標	280	280	280	280	360	
			実績	280	277	276	360		
		地域スポーツ教室の参加者数	目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
			実績	1,998	2,027	2,320	2,047		
	活動指標	市民スポーツ教室の講座開催数	目標	4	4	4	4	5	
			実績	4	4	4	5		
		地域スポーツ教室の開催箇所数	目標	16	16	16	16	16	
			実績	16	15	16	16		
@事業費	受益者数(a)	人	2,158	2,231	2,478	2,407			
	受益者あたり事業費(b=C/a)	円	1,318	1,244	1,138	1,167			

	改善点は見られない	○	改善点が若干見られる		大いに改善すべき	
診断結果	<p>○市民スポーツ教室 ・親子ふれあい体操教室 成果指標は平成29年度から平成30年度にかけて増加となっている。この要因は、1期あたりの講座の回数を減らすことで、年間の講座数を3期から4期に増やしたため参加者数の増加に繋がった。</p> <p>・シルバースポーツ大学 成果指標及び活動指標は、目標数値を達成しており、今後も目標値を達成すると考える。</p> <p>○地域スポーツ教室 成果指標及び活動指標は、横ばいの傾向にある。すべての小学校区で教室は開催されており、開催箇所数は増加しないため、参加者数の大幅な増加は見込めない。</p>					

4. 総合評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの				
削減額・対象	事務事業評価による額	千円	予算区分	節	節	節
評価結果	<p>親子ふれあい体操教室及びシルバースポーツ大学は、定員を超える応募者数があり好評である。開催方法の見直しなどに取り組むことで、より多くの希望者が受講できる機会の拡大を目指したい。</p> <p>地域スポーツ教室は全ての小学校区で開催しており、今後も開催箇所数の増加は見込めないことから、1教室あたりの利用者数を増やす試みが必要である。今後もスポーツ推進委員との協力により地域住民のニーズに合うニュースポーツの教室を開催する。</p> <p>総合的に、スポーツ教室開催事業については、市民のスポーツ活動の機会の充実が必要不可欠であるので、当該事業としては事業全体のボリュームとして「維持」と判断した。</p>					